

## ～令和元年度 関西広域連合都市農村交流現地検討会を開催しました～

日 時：令和元年11月7日（木）～8日（金）  
 場 所：1日目 NPO法人原始人の会、酒米研究交流館  
 2日目 兵庫楽農生活センター  
 参加者：1日目 33名、2日目 26名

1日目は、兵庫県加西市において、都市農村交流や地域づくり活動に取り組む「NPO法人原始人の会」の拠点施設を訪問し、取組事例発表や拠点施設の視察を実施。その後、酒米のさらなる生産発展のため兵庫県が整備した「酒米研究交流館（加東市）」を訪れ、取組概要を聴取し、施設を見学した。

2日目は、兵庫県が提唱する食や「農」に親しむライフスタイル「楽農生活<sup>らくのう</sup>」を体験・実践できる拠点施設「兵庫楽農生活センター」を訪問。取組事例発表の後、圃場や直売所等を視察した。

### 【1日目】

#### 事例発表

NPO法人原始人の会における都市農村交流の取組について  
 NPO法人原始人の会 理事長 池田 孝一 氏



#### 現地視察

ブルーベリー体験農園



宿泊施設「大谷山荘3号館」



#### 主な質疑

- Q. 宿泊施設「大谷山荘」の利用者の傾向は。また、運営上の課題は。
- A. 神戸や大阪からが多い。最近では地域内の人でも利用してくれるようになった。運営上の課題は、収益の確保。特に平日の稼働率を上げること。
- Q. 地域づくりを続けるうえで、人間関係を円滑に進めるコツはあるか。
- A. 会設立当初から残っているのは3名。人の入れ替わりはあるが、いろんな業種の人が会に参加していて、それぞれの得意分野を生かし、助け合って活動している。

## 【 2日目 】

### 事例発表

兵庫楽農生活センターの概要と取組について  
兵庫楽農生活センター 副センター長 <sup>ながた</sup>永田 <sup>まなぶ</sup>学 氏



### 現地視察

市民農園



いちご収穫体験農園



### 主な質疑

- Q. イベントでうまく集客するコツは。  
A. 他ではやっていない体験を提供する（稲作や黒豆など）。また、家族連れで出来る体験を提供している。  
Q. 資金面の運用はどうしているのか。  
A. 施設の運営・維持管理は県から委託契約を請けている。また、体験等の受講料も運営費となっている。

### 参加者からの感想（抜粋）

- ・他県の都市農村交流の取り組みを知ることができてよかったです。自県での取り組みの参考にしていきたいと思います。
- ・都市農村交流の現場の方の話を聞く機会が中々ないので、貴重な経験でした。
- ・1日目は、住民主導による活動について生の声をお伺いし、大変勉強になりました。2日目は、県試験場跡地をうまく活用されていると感じました。
- ・イベントでの人集めに少し迷走していましたが、今回、イベントで成功している2施設を見学させて頂き、とても刺激になるとともに、私も新たな視点から再度チャレンジしようと思うことができ嬉しかったです。
- ・今後も現地検討会を続けていただきたいです。